

TOKYO 12総支部フラッシュ

安心・安全の医療体制を

～東京北社会保険病院で意見交換～



北区の東京北社会保険病院を訪れた太田昭宏代表は、小児科と産婦人科を視察。医師や看護師不足の問題などで病院関係者から説明を受けました【写真上、昨年11月16日】。これには大松成都議、北区議会公明党のメンバーらが同行しました。

太田氏は、同病院の「小児24時間救急医療体制」導入を推進。意見交換【同下】の席で、病院側は、全科休診となった東十条病院からの紹介患者が増え、小児科や産婦人科の医師不足の現状を語りました。

同病院の視察後、一行は豊島区内で病院長をはじめ、各病院の事務局長、看護師の代表約30人と意見交換を行いました。

視察を終えた太田氏は、「奈良県の“妊娠たらい回し”のような事件を二度と起こさないためにも、医療現場の第一線で働く皆さんのがんばりを受け止めて、安心・安全の医療体制の整備に全力で取り組みたい」と強調しました。



「舍人ライナー」今春開業へ

～足立区内の車両基地を視察～



東京都が建設を進めている新交通システム「日暮里・舍人ライナー」。荒川区の日暮里駅と足立区舍人地区を結ぶ“地域の足”として、本年3月30日の開業が予定されています。

昨年12月5日には、太田昭宏代表をはじめ、友利春久、中山信行の両都議、足立区議会公明党のメンバーらが、足立区内の車両基地を視察しました【写真】。

同ライナーの開通を促進してきた太田氏らは、関係者から整備状況などの説明を受け、実際の車両に試乗。開業に向けて、活発な意見交換を行いました。

開通すれば足立区西部地域の交通利便性が格段に向上し、交通渋滞の緩和や沿線地域の活性化も期待される同ライナーの開業に向けて、太田氏は関係者の尽力に心から感謝。待望久しい開業に向けて、万全の体制でサポートしていくことを約しました。



公明党衆議院小選挙区
東京第12総支部機関紙
発行/公明党衆議院小選挙区東京第12総支部
〒114-0002 東京都北区王子2-32-7-3F
TEL:03-3912-5002 FAX:03-3912-5003



改革の先頭に立つ！――

**小さなことから大きなことまで、
その人の気持ちになって行動する“その気でやる男”**

2008年が開幕しました。日ごろより、公明党東京第12総支部長の太田昭宏氏に温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

太田氏は党代表として、先頭に立って改革を推進。現在の“ねじれ国会”でも、自民、民主との政策協議をリードし、「改正被災者生活再建支援法」「すべての政治資金支出の領収書公開」などを前進させました。

このほど、新しいポスターが完成。溶接工や自転車屋さん、お医者さんなど、小さなことから大きなことまで、その人の気持ちになって行動する“その気でやる男”太田氏をイメージしたものです。

今後も北区・足立区西部の代表として、庶民や中小企業のために全力で行動してまいりますので、力強いご支援の程、何卒、宜しくお願い申し上げます。